

トレニア

花しだ

管理と楽しみ方

19

<トレニアの特徴>

- インドシナの前産でゴマノハグサ科の1年草です。寒さには弱いので株は越冬できません。
- 夏向きの花です。暑さに強く、自然のこぼれ種でも繁殖するほど性質は丈夫。
- 花色は豊富で、新しい花を次々に咲かせますので、花壇や寄せ植え等幅広い場面で活躍できます。

<楽しみ方のポイント>

- 良い苗の選び方…株が徒長せず、引き締まった草姿のもの。
- 植付け場所…日当たりが良く、排水の良い場所に。半日陰でも十分対応します。
- 水やり…土が乾いたら十分に灌水します。水切れには弱く、すぐ萎れたり枯れ込んでしまいますので、過乾燥には気を付けてください
- 開花後は…咲き終わった花はこまめに摘み取ります。
- 真夏時期（7月下旬～8月中旬）の管理…
暑さには強いのですが、この時期は花付きが悪くなります。丈が伸びすぎている場合、この時期に1/2程度に刈り込んでやると、9月ぐらいからは再び咲き始めます。
- 施肥…それほど欲しがりませんが、2ヶ月に1回、1株あたり1つまみ程度緩効性肥
料を追肥してやると丈夫な株に育ちます。
- その他…1年草ですので花が終われば引き上げます。

<得する豆知識>

- ビオラを思わせる花が秋にかけて咲き続けるので、別名ナツスミレとも呼ばれています。
- ビオラを思わせる花が秋にかけて咲き続けるので、別名ナツスミレとも呼ばれています。
- 花言葉は「可憐」で、その草姿や花形によくマッチしています。日本に紹介されたのは明治初期で、日本人好みの花であるといえます。

